

【シンポジウム報告 3】

「土地利用計画シンポジウム」の開催について

藤村 浩之

今後の土地政策の主要課題の一つである、適正かつ合理的な土地利用を進めるにあたっては、土地利用計画の役割が重要です。本シンポジウムでは、地方分権推進委員会での議論など土地利用をめぐる最近の動きを概観するとともに、地方公共団体における条例を通じた独自の土地利用調整の取り組みなどを踏まえて、土地利用計画のあり方について意見交換を行うことにより、今後の総合的な土地利用計画の整備・充実に向けての検討に資することを目的とし、国土庁の土地月間行事として開催されました。

シンポジウムには、北は北海道、南は沖縄県まで260名もの方々に参加をいただき、土地利用計画についての関心の高さがうかがえました。

開催概要

①テーマ 「今・なぜ総合的な土地利用計画が必要か！」

②開催日 平成9年10月24日(金)

③場 所 銀座ガスホール

④参加者 第1部 基調講演

講演者：伊藤 滋氏（東京大学名誉教授・慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター：大西 隆氏（東京大学教授・大学院工学系研究科都市工学専攻）

片桐 久雄氏（農用地整備公団理事長）

宇賀 克也氏（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

小野 義博氏（神奈川県企画部土地政策担当課長）

荻野 泰弘氏（神戸市産業振興局次長）

（当日発表順）

⑤実施体制

・主催：国土庁

・共催：(財)土地総合研究所

・事務局：(財)土地総合研究所

なお、本シンポジウムの報告者は、近日中に刊行されます。

〔ふじむら ひろゆき 〕

〔土地総合研究所 研究員〕